

令和4年 2月14日(月)

2年連続！デザインパテントコンテスト優秀賞受賞

～ 意匠登録へ向けて、弁理士の上岡将人先生の遠隔講義を受講 ～

令和3年度デザインパテントコンテストにおいて、土木科3年山本駿哉さんがコップ置きを発案して、優秀賞に選ばれました。このコンテストは、高校生、高等専門学校生、大学生等が自ら創作した作品を競い合い、優秀な作品については優秀賞とし表彰されるとともに、実際に特許庁への出願の支援を受けて意匠権取得までの手続を実体験することができます。また、「知的財産マインドが高まり、デザインで社会や暮らしをより良くし、未来を切り拓く。」そのような体験の機会を深めることを目的に開催されています。

本校では、優秀賞の受賞は今回で2年連続となります。今回の作品を特許庁へ意匠登録出願するために、知的財産権の専門家である弁理士の上岡将人先生の遠隔授業を受けました。アドバイスを生かして、自分が考えたアイデアや3DCADの実習で作った作品の意匠権の取得が期待されます。

卒業後は県内企業の就職が決まっており、「今回の受賞は、今後の自信につながるいい経験になったと思います。」と笑顔で語る山本さん。高校3年間で培ってきた学びを社会で大いに生かし、輝き続けてくれることを願っています。

令和3年度 デザインパテントコンテスト 受賞者の声

コップ置き

愛媛県立松山工業高等学校

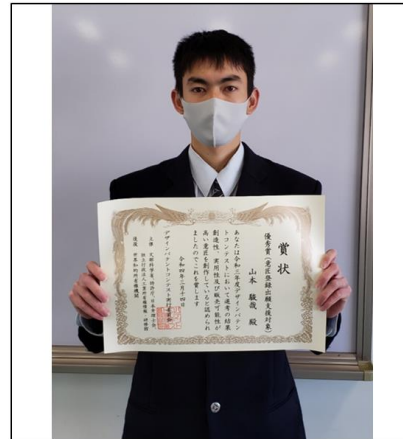
山本 駿哉

【受賞について】

- 絶対に無理だろうと思って応募したので受賞したことを知ったときはとても驚きました、とてもうれしかったです。今回の受賞は、今後の自信につながるいい経験になったと思います。この経験を今後いかせられるようにしたいです。

【来年度の応募者に向けて】

- こんなものがあれば便利だなと思うものを考えてみて、アイデアが見つかったら自分が考えたアイデアに自信を持ち応募してみるといいと思います。



山本駿哉さん



遠隔でアドバイスを受ける生徒



アドバイスを受け、手直ししている生徒



土木科1年生「工業技術基礎」

～ 知的財産教育実施 ～